

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成 25 年 10 月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波空気振動】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 5

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動.....	II - 10

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 25 年 10 月（大気質、水質、騒音・低周波空気振動）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 25 年 10 月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	10月1日～31日	通年連続

(2) 水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	10月1日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

(3) 騒音・低周波空気振動 表-1(3)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	10月17日～18日	2回/年 (4月、10月)

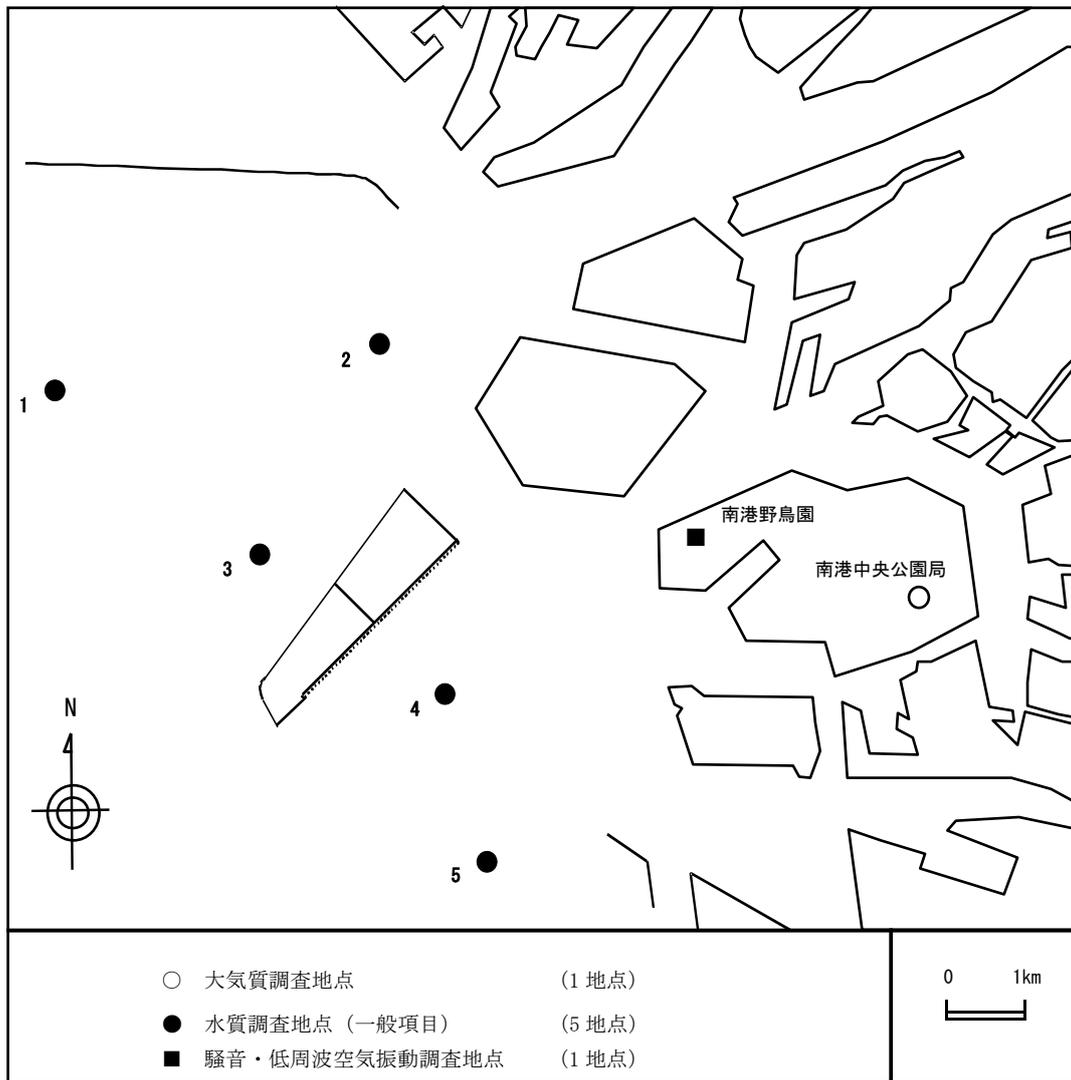


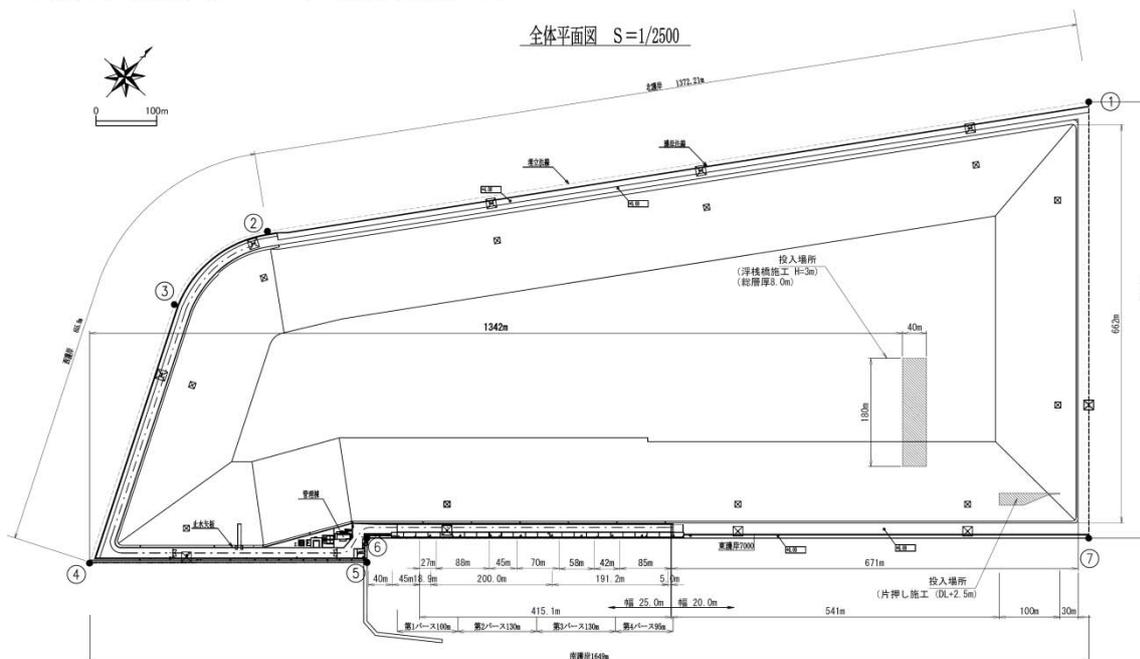
図-1 大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波空気振動の調査地点（平成 25 年 10 月）

2. 工事の実施状況

平成 25 年 10 月の工事の実施状況は、図－ 2 (1)、(2)、表－ 2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図

大阪沖埋立処分場 2013年10月度埋立施工図



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
2,395,033	17.1

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図－ 2 (1) 工事の実施状況 (平成 25 年 10 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄 (SO₂) の月平均値は、0.004ppmであった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.018ppmであり、環境基準を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素 (NO₂) の月平均値は、0.023ppmであった。また、日平均値の最高値は0.040ppmであり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値0.10mg/m³以下、1時間値：0.20mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.023mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.039mg/m³、1時間値の最高値は0.081mg/m³であり、環境基準を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質（一般項目）[水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.5～8.8、下層で8.3～8.4であり、上層では全ての調査地点で環境基準値を上回り、下層では調査地点3及び調査地点4で環境基準値を上回っていたが、他の調査地点では環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1(8.6)、調査地点2(8.5)、調査地点3(8.5)、調査地点4(8.8)、調査地点5(8.8)、下層における調査地点3(8.4)、調査地点4(8.4)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)では上層で7.7～8.6、下層で7.8～8.3の範囲にあり、上層における調査地点4及び調査地点5、下層における調査地点3及び調査地点4でこの範囲を若干上回ったが、概ね同程度であり、本事業による影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.6～3.4mg/L、下層で2.2～2.7mg/Lの範囲にあり、上層で調査地点4を除く全ての調査地点において環境基準値を満たし、下層でも全ての調査地点で環境基準を満たしていた。

環境基準を超過した調査結果は、上層における調査地点4(3.4mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層 7.5~11mg/L、下層で 2.4~4.2mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準を下回った調査結果は、下層における調査地点 1(3.3mg/L)、調査地点 2(4.2mg/L)、調査地点 3(4.1mg/L)、調査地点 4(2.4mg/L)、調査地点 5(2.6mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)では下層で 0.6~11mg/L で、いずれもこの範囲内にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.28~0.60mg/L、下層で 0.27~0.50mg/L の範囲にあり、上層、下層の全ての調査地点で環境基準を満たしていた。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.026~0.048mg/L、下層で 0.038~0.047mg/L の範囲にあり、上層、下層の全ての調査地点で環境基準を満たしていた。

6) 濁度

濁度は上層で 2~4 度(カリン)、下層で<1~3 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~4mg/L、下層で<1~3mg/L の範囲であった。

8) クロコフィル a

クロコフィル a は上層で 5.8~20 μ g/L、下層で 0.8~1.5 μ g/L の範囲であった。

(3) 騒音・低周波空気振動 [騒音振動様式 1～4号]

1) 騒音【環境基準値：昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル (Leq) は、昼間 (午前 6 時～午後 10 時) は平均値 52 デシベル、夜間 (午後 10 時～午前 6 時) は平均値 48 デシベルであり、昼間・夜間ともには環境基準値以下であった。

2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル (L50) は、作業時間帯 (午前 9 時～午後 6 時) において平均値 77 デシベルであり、環境影響評価時の予測値 (73 デシベル) を上回る値であった。

調査当日、埋立中の揚陸に伴う重機等使用する作業は、8 時 20 分から 13 時 55 分までである。重機等を使用する作業員は 14 時 30 分の船で帰ってくる。他、発電機は 24 時間稼働している。また、建設工事に伴う海上作業は、8 時から 17 時頃までである。図-3 より作業時間帯以外でも高い傾向が見られることから、本事業の影響によるものではないと考えられる。

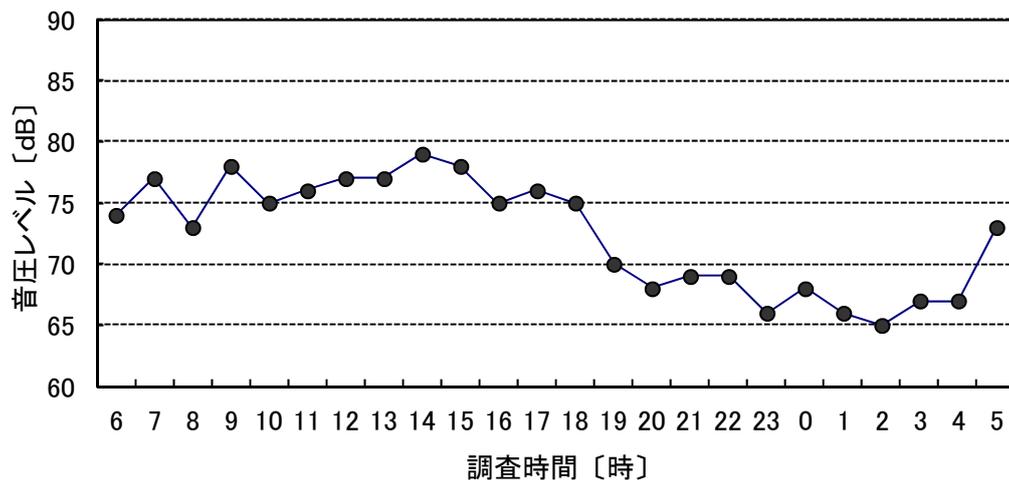


図-3 低周波空気振動の音圧レベルの時間推移

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3)騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デシベル以下	50 デシベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表[平成25年10月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	713
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成25年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (火)	0.004	0.006
	2 (水)	0.004	0.010
	3 (木)	0.004	0.005
	4 (金)	0.005	0.008
	5 (土)	0.003	0.004
	6 (日)	0.003	0.018
	7 (月)	0.004	0.011
	8 (火)	0.005	0.009
	9 (水)	(0.003)	(0.005)
	10 (木)	(0.005)	(0.007)
別	11 (金)	0.003	0.007
	12 (土)	0.006	0.013
	13 (日)	0.005	0.010
	14 (月)	0.007	0.016
	15 (火)	0.004	0.007
	16 (水)	0.004	0.007
	17 (木)	0.004	0.006
	18 (金)	0.005	0.008
	19 (土)	0.005	0.016
	20 (日)	0.003	0.006
値	21 (月)	0.005	0.010
	22 (火)	0.005	0.011
	23 (水)	0.003	0.004
	24 (木)	0.003	0.003
	25 (金)	0.002	0.003
	26 (土)	0.003	0.004
	27 (日)	0.005	0.012
	28 (月)	0.007	0.013
	29 (火)	0.006	0.011
	30 (水)	0.005	0.008
	31 (木)	0.006	0.013
有 効 測 定 日 数 (日)		29	
測 定 時 間 (時間)		713	
月 平 均 値 (ppm)		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.007	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.018	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。

その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果〔平成25年10月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日	1 (火)	0.030	0.046
	2 (水)	0.028	0.050
	3 (木)	0.023	0.045
	4 (金)	0.026	0.038
	5 (土)	0.024	0.037
	6 (日)	0.016	0.029
	7 (月)	0.017	0.031
	8 (火)	0.026	0.038
	9 (水)	(0.029)	(0.062)
	10 (木)	(0.040)	(0.051)
別	11 (金)	0.026	0.071
	12 (土)	0.038	0.081
	13 (日)	0.016	0.030
	14 (月)	0.022	0.038
	15 (火)	0.021	0.029
	16 (水)	0.013	0.025
	17 (木)	0.016	0.033
	18 (金)	0.020	0.041
	19 (土)	0.022	0.039
	20 (日)	0.013	0.024
値	21 (月)	0.018	0.032
	22 (火)	0.020	0.041
	23 (水)	0.018	0.036
	24 (木)	0.018	0.029
	25 (金)	0.013	0.025
	26 (土)	0.017	0.030
	27 (日)	0.022	0.034
	28 (月)	0.032	0.049
	29 (火)	0.027	0.050
	30 (水)	0.037	0.067
	31 (木)	0.039	0.057
有 効 測 定 日 数 (日)		29	
測 定 時 間 (時間)		716	
月 平 均 値 (mg/m ³)		0.023	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.039	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.081	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)
 は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔平成25年10月分〕

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (火)	1.1	1.8	NNW	N
	2 (水)	0.9	1.5	WSW	NNW, WSW
	3 (木)	1.2	2.1	NNW, N	NNW
	4 (金)	1.2	2.1	E	NNE
	5 (土)	1.6	2.6	NE	NE
	6 (日)	1.9	3.4	ESE	N, E
	7 (月)	2.0	3.4	ESE	ESE
	8 (火)	1.1	2.1	ESE	NE
	9 (水)	1.3	2.8	S	WSW
	10 (木)	1.0	2.5	WNW	NE
別	11 (金)	1.8	3.6	SSW	SSW
	12 (土)	1.9	3.5	W	NNW, WNW
	13 (日)	1.1	2.3	NNW	N
	14 (月)	1.2	2.6	E	E
	15 (火)	1.4	3.0	NE	N
	16 (水)	1.8	3.9	NNW	NNW
	17 (木)	1.4	3.1	ENE	NNW
	18 (金)	1.3	2.3	ESE	NE
	19 (土)	1.2	3.0	NE	N
	20 (日)	1.1	2.5	ENE	N
値	21 (月)	0.8	1.4	NNE	N
	22 (火)	1.1	2.4	E	N
	23 (水)	1.4	2.3	NE	N, NE
	24 (木)	2.0	3.4	NE	NNE
	25 (金)	1.0	2.2	N	N
	26 (土)	1.4	2.5	NNW	NNW
	27 (日)	1.1	2.4	NNW	NNW
	28 (月)	0.7	1.0	ESE	ESE
	29 (火)	0.9	1.7	ENE	N
	30 (水)	1.0	2.2	SW	NNW
	31 (木)	0.8	1.5	NNW	N
測定時間 (時間)		743			
月平均風速 (m/s)		1.3			
月最大風速 (m/s)		3.9			
月最多風向 (16方位)		N			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成25年10月分]

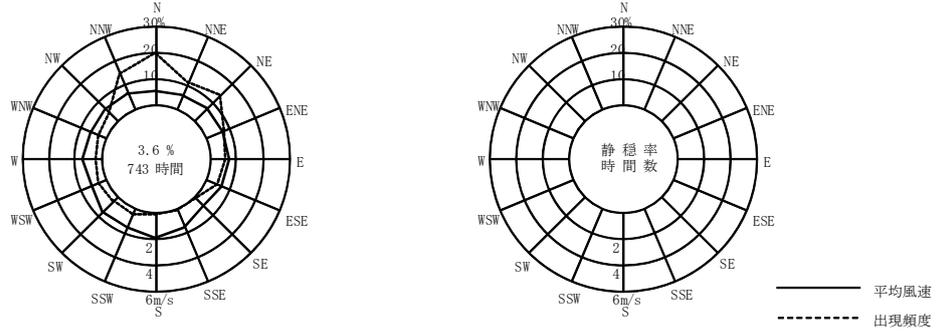
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	84	105	57	45	35	8	5	3	16	15	20	16	20	33	109	145	27	743
頻度 (%)	11.3	14.1	7.7	6.1	4.7	1.1	0.7	0.4	2.2	2.0	2.7	2.2	2.7	4.4	14.7	19.5	3.6	-
平均風速 (m/s)	1.2	1.5	1.4	1.4	1.3	1.0	1.6	1.9	1.5	1.6	1.1	1.4	1.2	1.3	1.3	1.1	1.0	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成25年10月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成25年10月分]

調査日：平成25年10月 1日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	9:47	8:58	9:19	8:50	9:20	—	—	
透明度 [m]	2.2	2.0	5.5	2.0	2.5	2.0 ~ 5.5	2.8	
水温 [°C]	24.2	24.2	23.8	24.3	24.3	23.8 ~ 24.3	24.2	
	23.6	23.6	23.7	23.6	23.6	23.6 ~ 23.7	23.6	
塩分 [—]	19.61	26.49	28.58	25.55	29.02	19.61 ~ 29.02	25.85	
	31.92	31.83	31.84	31.89	31.87	31.83 ~ 31.92	31.87	
濁度 [度(カリン)]	4	4	2	4	4	2 ~ 4	4	
	2	3	<1	1	2	<1 ~ 3	2	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	4	2	2	3	3	2 ~ 4	3	
	2	2	<1	2	3	<1 ~ 3	2	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.6	8.5	8.5	8.8	8.8	8.5 ~ 8.8	—	
	8.3	8.3	8.4	8.4	8.3	8.3 ~ 8.4	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	2.7	3.0	2.6	3.4	2.8	2.6 ~ 3.4	2.9	
	2.7	2.5	2.5	2.4	2.2	2.2 ~ 2.7	2.5	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.7	8.7	7.5	11	11	7.5 ~ 11	9.6
	飽和度 [%]	3.3	4.2	4.1	2.4	2.6	2.4 ~ 4.2	3.3
全窒素 (T-N) [mg/L]	128	120	104	147	150	104 ~ 150	130	
	47	59	57	33	37	33 ~ 59	47	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.54	0.60	0.30	0.51	0.28	0.28 ~ 0.60	0.45	
	0.33	0.50	0.30	0.32	0.27	0.27 ~ 0.50	0.34	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.048	0.047	0.028	0.047	0.026	0.026 ~ 0.048	0.039	
	0.047	0.040	0.038	0.039	0.039	0.038 ~ 0.047	0.041	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	14	11	5.8	20	10	5.8 ~ 20	12	
	1.1	0.9	0.8	1.4	1.5	0.8 ~ 1.5	1.1	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

環境騒音調査結果総括表[平成25年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：平成25年10月17日～18日

時間区分	騒音レベル (デシベル)												主音源
	L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{eq}			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	54	51	57	51	47	53	48	45	51	52	48	54	港湾作業、船舶
夜間	50	47	52	47	46	48	46	45	46	48	46	49	虫、船舶

- 注：1. L₅、L₅₀、L₉₅の平均値は算術平均値、L_{eq}の平均値はパワー平均値である。
 2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。
 3. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

環境騒音調査結果総括表〔平成25年10月分〕

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：平成25年10月17日～18日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル (デシベル)				主音源
				L ₅	L ₅₀	L ₉₅	L _{eq}	
06:00	昼間	C	60dB(A)	56	50	48	52	鳥、港湾作業、船舶、車両
07:00				56	51	49	52	鳥、港湾作業、船舶、車両
08:00				57	52	49	54	鳥、港湾作業、船舶、車両
09:00				57	52	51	53	鳥、港湾作業、船舶
10:00				53	50	48	51	鳥、港湾作業、船舶
11:00				54	50	47	51	港湾作業、鳥、船舶
12:00				51	47	45	48	港湾作業、鳥、船舶
13:00				55	51	47	52	港湾作業、鳥、船舶
14:00				56	53	50	53	港湾作業、鳥、船舶
15:00				57	53	51	54	港湾作業、鳥、船舶
16:00				56	53	51	53	鳥、船舶
17:00				54	51	49	51	港湾作業、鳥、船舶
18:00				54	50	49	51	港湾作業、船舶
19:00				51	48	47	49	港湾作業、船舶
20:00				夜間	50dB(A)	50dB(A)	52	49
21:00	51	49	47				49	虫、近隣工場、港湾作業
22:00	52	48	46				49	虫、近隣工場、港湾作業
23:00	51	47	46				48	虫、近隣工場、船舶、車両
00:00	49	47	46				48	虫、近隣工場、船舶、車両
01:00	49	47	45				47	虫、近隣工場、船舶、車両
02:00	47	46	45				46	虫、近隣工場、車両
03:00	51	48	46				48	虫、近隣工場、車両
04:00	50	47	46				48	虫、車両
05:00	51	48	46	49	鳥、車両、船舶、港湾作業			
最小値				47	46	45	46	
最大値				57	53	51	54	
平均値				53	49	48	50	

注：1. L₅、L₅₀、L₉₅の平均値は算術平均値、L_{eq}の平均値はパワー平均値である。

2. 環境基準はLeqである。

低周波空気振動調査結果総括表 [平成25年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：平成25年10月17日～18日

音圧レベル (デシベル)												風速 (m/s)	
L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{max}				
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大
81	77	85	77	75	79	74	72	76	84	79	89	0.0	8.7

注：1. 平均値は算術平均値である。

2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波空気振動調査結果[平成25年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：平成25年10月17日～18日

調査時間	音圧レベル (デシベル)				風速 (m/s)	
	L ₅	L ₅₀	L ₉₅	L _{max}	最小	最大
06:00	75	74	72	77	0.0	2.6
07:00	80	77	75	83	0.0	2.0
08:00	76	73	71	80	0.0	4.2
09:00	83	78	75	86	0.0	4.0
10:00	77	75	73	79	0.2	5.9
11:00	79	76	74	82	0.1	4.1
12:00	79	77	75	82	0.0	2.9
13:00	85	77	73	89	1.6	7.3
14:00	83	79	76	85	1.1	8.7
15:00	83	78	73	87	0.8	7.6
16:00	78	75	72	81	1.0	6.9
17:00	79	76	73	83	0.3	6.7
18:00	79	75	71	82	0.3	4.1
19:00	74	70	67	76	0.0	4.2
20:00	73	68	66	77	0.0	5.4
21:00	72	69	67	74	0.0	2.9
22:00	72	69	66	77	0.0	2.6
23:00	71	66	64	74	0.0	3.0
00:00	73	68	65	83	0.0	2.3
01:00	69	66	64	74	0.0	1.4
02:00	67	65	63	70	0.0	0.8
03:00	69	67	65	72	0.0	1.4
04:00	71	67	65	79	0.0	0.9
05:00	78	73	69	79	0.0	1.1
最小値	67	65	63	70	0.0	0.8
最大値	85	79	76	89	1.6	8.7
平均値	76	72	70	80	0.2	3.9

風部分を除外